

おりづる

上杉在宅介護
支援センター
通信
平成28年夏号

今回は、認知症予防に効果があると言われている『園芸療法』を紹介します。

園芸療法とは、「野菜作り」「花を育てる」「ガーデニング」といった自然の中で植物を育てる園芸作業を通じ、仲間と協力し植物の世話をすることで、「認知症の予防・改善」「ADL(日常生活動作能力)・QOL(生活の質)の維持・向上」「精神の安定」を図る認知症に対する非薬物療法の1つです。

目的は、植物との関わりを通じた身体機能の維持や気力低下の防止です。

- ・野菜作り
- ・花や盆栽の育成
- ・ガーデニング
- ・収穫物の販売や料理

などに取り組み、「視覚」「嗅覚」「味覚」「触覚」「聴覚」の「五感」を刺激することで、脳がより活性化し、認知症の予防・改善効果を最大限に高めることができるという事です。

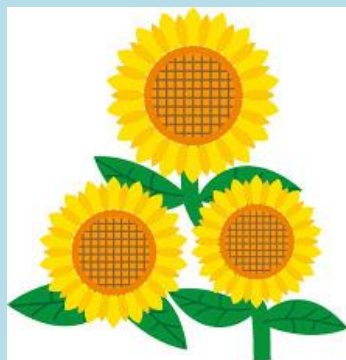
また、楽しみながら無理せず長く続けられる

ため通常のリハビリよりも大きなメリットがあると言われています。



まだまだ暑い日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。寝苦しい日が続きますが、水分をしっかりとって熱中症対策をして体調をくずさないように、気を付けてお過ごしください。

今回は赤間裕幸CM
(あかまひろゆき)を紹介
します！！



6月に入職しました赤間裕幸です。利用者様、ご家族様に寄り添い、笑顔となっていただけるような支援をして参りたいと思います。これからもどうぞよろしく願いいたします。

日本一やさしい居宅介護支援事業所を目指す「上杉在宅介護支援センター」へご相談がございましたら・・・

内科佐藤病院となりオオノビル5階へご連絡下さい！！

・TEL 022-217-2215 ・FAX 022-713-3376